

北海道大学のアドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)

北海道大学は、理系から文系までの全分野において大学院での研究や教育に重点を置く、日本を代表する基幹総合大学の一つです。その起源は、1876年に設立された札幌農学校に遡ることができます。その伝統から、本学は、帝国大学を経て新制大学に至る長い歴史の中で、「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」及び「実学の重視」という教育研究に関わる基本理念が生まれ、今日まで学問の自主、自由を培ってきました。

この理念の下に、本学は今、新世紀における知の創成、伝承、実証の拠点として発展することを目指し、教育研究を通じて、人類の福祉、科学、文化及び社会の発展に寄与することを使命としています。

そのため、学士課程においては、世界における市民としての自覚をもって社会に参加できること、専門の基礎となる学問やコミュニケーションの方法を身につけること、専門分野を広い視野の下に学ぶことを目指した教育を進めています。それを通じて、国際的に通用する高度な学問的素養をもち、健全な市民としての的確な判断力とリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。同時に、専門的職業人として指導的立場に立つ人材の育成、学術創造に進んで向かう人材の育成も目指しています。

これらを実現するため、北海道大学は、創設以来、歴史と伝統を継承しながら広く世界に優秀な人材を求め、学士課程教育を受けるにふさわしい学力、すなわち基礎知識・基礎技能・数理能力・語学力・理解力・読解力を備えた学生、また、大学入学以降の学びで必要な問題解決能力・創造力・倫理性・思考の柔軟性・コミュニケーション能力・論理的思考力・リーダーシップ、人間性や学ぶ意欲などを備えた学生を、多様な選抜制度により受け入れています。

文系総合入試のアドミッション・ポリシー

文系への進学を決めたが、まだどの学部が自分に合っているのか決めかねている、あるいは興味がたくさんあり何でもやってみたい、そんな思いをもっている人に受けて欲しいのが文系の総合入試です。総合入試の文系では、入学後1年間で文系・理系を問わない幅広い分野を学び、2年次進級時に自ら進路を選ぶことができます。

例えば、人の心について学びたい人がいたとしましょう。人の信頼感や思いやりといった心を学びたいのなら、文学部が良いかもしれません。また、子どもたちが発達段階で見せる様々な心の揺らぎを学びたければ教育学部、人の消費行動の視点から学びたければ経済学部、罪を犯す心理に迫りたければ法学部や文学部が良いかもしれません。同じ心理学

でも様々な切り口があり、外からではなかなかわかりません。

また、新しい独創性に富んだ研究は、文学部や教育学部といった学部ごとの学問領域を超えた接点からも生まれてきています。政治や環境問題を見てもわかるように、一つの観点や分野だけではなく、複雑に関連する様々な課題を広い視野から考え、判断する力が求められています。総合入試の文系では、幅広い力を身につけながら、自分に合った道を探したい学生を求めています。

理系総合入試のアドミッション・ポリシー

数学や理科は好きだが、自分が学びたい分野がどの学部にあるのか、まだはっきりしない皆さんは多いのではないのでしょうか。また、理系学部に進学したいが、大学で詳しく学んだ上で学部を決めたいと考えている人もいるのではないのでしょうか。そのような人にチャレンジして欲しいのが総合入試の理系です。総合入試の理系では、入学後1年間で理系・文系から幅広い分野を学び、2年次進級時に自ら進路を選ぶことができます。

例えば、高等学校の化学が得意なら、結合や結晶構造といった基礎が学べる理学部が良いかもしれません。自動車や電池といった生活に使われる“ものづくり”なら、応用化学が学べる工学部、農作物の病虫害の防除であれば農学部、また人の体を治したいのであれば薬理化学が学べる薬学部、医学部や歯学部、その対象が動物や魚であれば、獣医学部や水産学部でも薬理化学は学ぶことができます。

また、私たちは環境問題やエネルギー問題といった様々な要因が複雑に絡み合った問題にこれから立ち向かわなければなりません。そのためには様々な学問の結びつきを理解し、広い視点から解決策を創造していく力も必要です。総合入試の理系は、理系科目を中心にした幅広い学びを通じて、自分の研究分野を探したい学生を求めています。

学部のアドミッション・ポリシー

(1) 文学部

・学部の理念

北海道大学文学部は、人間と人間の営みが生み出す社会や文化の本質を探究することを基本的理念とする。文学部の使命は、現代が直面する諸問題を理解するために不可欠な人類の歴史と社会、思想と文化に対する深い認識を涵養し、国際化に直面する新しい時代を生きる次代の担い手を育成することである。

・教育目標

全国屈指の多様な研究分野と豊富な教員スタッフを擁する本学部は、あらゆる認識と表現の基礎となる「ことば」の教育に力を尽くし、徹底した少人数教育を通じて、個別

の研究分野を深く追求する。同時に、分野を横断して総合的に学びながら、現代社会のさまざまな問題に批判的な視点をもって取り組むことができる学生の育成を目指す。

・求める学生像

- ・人間社会の多様な営みに対して旺盛な知的好奇心をもっている学生
- ・自ら目的意識をもって計画的に勉学に取り組むことのできる学生
- ・地域社会や国際社会のなかで率先して自己の能力を役立てたいと考えている学生

・後期日程の狙い

大学入試センター試験によって基礎的学力をみるとともに、国語・英語・地歴および公民の諸教科を含む総合問題を課し、総合的言語能力、人間と社会に関する総合的知識および判断力を評価する。

(2) 教育学部

・学部の理念

北海道大学教育学部は、教育学を「人間の科学」であると考え、人間の成長や発達を、人と人との関係および人と社会との関係の中で捉えることを追求している。このような人間の科学の確立により、社会の様々な分野で、各人の能力を発揮できる人間を育てていくことが、北海道大学教育学部の使命である。

・教育目標

社会の様々な領域で教育の実践と改善に携わる人材を育成するとともに、教育を通じて平和な世界の実現に寄与する人材を養成することを目的としている。そのために、学生に、(1) 人間の科学を担うにふさわしい総合的な知識と自主的な研究態度の形成、(2) 社会の平和と永続的発展に貢献する人格の基礎の形成、(3) 人間の科学を開拓するための専門的研究方法の獲得、(4) 実践的教育課題の解決に資する総合的研究能力の育成、を教育目標とする。

・求める学生像

- ・人間の成長と発達及びそれを支える活動に関心を持つ学生
- ・家族、学校、企業、地域社会などにおける教育問題の解決を志す学生
- ・自分の価値観を持っている学生
- ・多様な価値観を理解することで、社会に貢献するとともに自身の成長に役立てたいと考えている学生

・後期日程の狙い

大学入試センター試験によって基礎的学力をみるとともに、小論文試験を課し、視野の広さ、論理的思考力及び多様な価値観を認めることのできる思考の柔軟性を評価する。

(3) 法学部

・学部の理念

北海道大学法学部は、「社会における多様な利害や価値観の相互対立を調整し、よりよい社会の実現を目指す実践の学問」としての法学・政治学を探究することを理念とし、現実の社会で生じている諸問題の具体的な解決策を検討し、よりよい社会を実現するため

の制度を設計することを中心課題としている。そのために、質・量ともに全国トップクラスの教員を擁して、少人数での授業を重視した高度できめ細かい教育を行うとともに、法科大学院等への進学をも想定して、法曹等の専門職養成の教育体制を強化している。具体的には、以下の二つのコースを設置している。

- ・法専門職コース：基本的な法律についてより重点的に学習し、法知識を前提とした専門職に就くことを目指す
- ・総合法政コース：法学・政治学の知識と素養を生かして社会の多様な分野で活躍することを目指す

・教育目標

幅広い社会科学的知识を踏まえて、法を理解し、法に共感できる市民の育成を目指す。その上で、(1)法専門職コースでは、法律専門職につくための実定法学の基礎の習得、(2)総合法政コースでは、多様な領域で活躍するための法的素養と政策判断力および広い視野と国際感覚の習得、を目指す。

・求める学生像

- ・法律家や行政官、外交官など法知識が必要とされる専門職として社会に貢献したいと考えている学生
- ・社会の多様な問題に関心を持っている知的好奇心の旺盛な学生
- ・社会の多様な問題の解決に進んで取り組みたいと考えている学生

・後期日程の狙い

大学入試センター試験によって基礎的学力をみるとともに、小論文試験を課し、法学・政治学教育において必要とされる能力と適性、とくに論理的思考力を評価する。

(4) 経済学部

・学部の理念

北海道大学経済学部の基本的な学問体系は経済学と経営学とから構成される。経済学と経営学は、人間が生きていく上でもっとも適切な社会環境を探求する学問であり、社会のリーダーにとってもっとも大切な知的財産のひとつである。このような考えを具現化するために、北海道大学経済学部では以下の二つの学科を設置している。

- ・経済学科：市場経済がどのような働きをし、どのようにわれわれの生活を豊かにするのか、また逆にどのような格差やひずみを生み出しているのかを理解し、それを補う経済政策を適切に判断できる素養を培うことを目指す
- ・経営学科：現代社会における組織（企業、政府、地方自治体、非営利組織など）の経営現象を分析するために、組織管理の仕組みや組織構成員の対人的相互作用を解明するために必要な能力を習得することを目指す

・教育目標

社会現象に関する幅広い視野を獲得するとともに、経済学や経営学の専門知識を体系的に習得することにより、社会の様々な分野で貢献しうる人材を育成する。

・求める学生像

- ・現代社会が抱えている様々な問題に関心があり、それらを解決することで社会に貢献

したいと考えている学生

- ・経済学や経営学の知識を生かして、社会の様々な地域や分野で人的ネットワークを形成したいと考えている学生

・後期日程の狙い

大学入試センター試験によって基礎的学力をみるとともに、小論文試験を課し、経済学・経営学の学習の基礎となる観察力・理解力・論理的思考力とそれらの応用能力を評価する。

(5) 理学部

・学部の理念

北海道大学理学部は、自然界を支配する基礎的な法則や理論・原理を学び、様々な自然現象の真理を解明することを理念としている。今われわれの生活を支えている様々な便利さや高度に発達した文化・文明、並びにこれらを支える世界観は、自然現象に対する純粋な知的好奇心に基づく基礎自然科学、つまり理学から生まれてきたものである。したがって、北海道大学理学部は、基礎自然科学の発展を支える優れた研究者を育成するとともに、科学的な思考に基づき社会に貢献する人材を育成することが使命であると考え、基礎自然科学に関する以下の五つの主要分野の教育を行う。

- ・数学科：代数・幾何・解析の基本を学び、それを基にそれぞれの領域の専門知識を学ぶ
- ・物理学科：素粒子から宇宙に至る諸々の物質のことわり（理）や自然現象の基礎的原理を学ぶとともに、新たな普遍法則を探り、また、科学全体の発展を考察する
- ・化学科：広範な現象や物質の構造・性質・変換過程を分子や分子集合体のレベルで理解するとともに、分子を自在に操り所望の物質を作り出す
- ・生物科学科：生物学と高分子機能学に分かれる。生物学では多種多様な生物を対象とし、分子や遺伝子の働き、生物と自然との関わりなど、生物の営みの基本にある原理や新しい真理を探る。高分子機能学では機能性高分子と呼ばれる新しい特性と機能をもったバイオ新素材や医薬などの開発およびこれらの生命分子の特性を解析する
- ・地球惑星科学科：地球や惑星における自然のメカニズムを解き明かすとともに、自然環境の問題や資源の確保、災害の軽減に関する基礎的な研究を行う。また、地球や惑星上に起こる様々な自然現象を物理的に解明し、環境科学の基礎研究としての役割ももつ。

・教育目標

それぞれの専門分野に進むための幅広い自然科学の知識を習得するとともに、獲得した知識を演習や実験・実習などを通して実践できる能力を育成する。

・求める学生像

- ・自然に関心をもち、自然現象のメカニズムを解明したいと考えている学生
- ・物事を論理的に説明したいと考えている学生
- ・時流に流されることのない真理を探究したいと考えている学生
- ・観察や実験が好きで、納得が行くまで観察や実験を続けたいと考えている学生

- ・後期日程の狙い

大学入試センター試験によって基礎的学力をみるとともに、数学および理科の受験科目・配点を学科ごとに定めることにより、各学科の専門教育を受ける上で必要とされる能力・資質を重点的に評価する。

(6) 医学部

- ・学部理念

北海道大学医学部は、医師や医学研究者を養成する6年制の医学科と、看護師や診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士といった医療専門職や保健科学研究者を養成する4年制の保健学科とからなる。北海道大学医学部は、人という生命体と直接向き合っていく医学と保健科学の探求を通じて、高度な医療知識や医療技術に加え、高い倫理観や豊かな人間性、深い人間愛を備える人材を育成する。

- ・教育目標

医師や医療専門職、医学や保健科学の研究者になるために必要な基本的な態度や知識、技術を学ぶとともに、人に向き合うために必要な豊かな人格形成やコミュニケーション能力を育成する。医学や保健科学の専門知識の習得に終始するのではなく、医学や保健科学を担っていくという信念や人間愛、使命感、責任感、奉仕の精神などを養う人間教育にも力を注ぎ、社会の要請にこたえる医師、医療専門職、研究者を育てることを使命としている。

- ・求める学生像

- ・人と医療に関心があり、様々な観点から人と医療について知りたいと考えている学生
- ・思いやりの気持ちをもって人とコミュニケーションをとることができ、医療を通じて社会に貢献したいと考えている学生

- ・後期日程の狙い

大学入試センター試験によって、基礎的学力をみるとともに、面接を課し、医学部での教育、ならびに将来の職業資格に対する適性を評価する。

(保健学系放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻のみ)

(7) 歯学部

- ・学部理念

北海道大学歯学部は、口腔の健康管理を通して心身の健康管理に寄与し、それぞれの人の生活の質を高めていくことを理念とする。このような理念のもとに、社会的要求に対して常に最高の水準で対応できる歯科医師や歯学研究者を育成する。

- ・教育目標

基礎教育期、専門教育期、総合教育期の三期に分けて教育に取り組んでいる。基礎教育期では、教養科目及び基礎科目を幅広く学ぶことにより、医療人としての倫理観の獲得や人間性の向上を目指す。専門教育期では、歯学や歯科医療に関する専門的な知識と技術を習得する。最後の総合教育期では、臨床実習を通じて習得した知識や技術を実践し、現実に関与する知識や技術を獲得することを目指すとともに、一般医学全般についても学ぶこ

とにより、より広い視点から歯学や歯科医学を捉えなおすことを目指す。

・求める学生像

- ・同時に多数の教科を学ぶことのできる柔軟な学習能力を持った学生
- ・歯科医学の発展に寄与したいと考えている学生
- ・歯科医療を通して人の生活の質を向上させることに奉仕したいと考えている学生
- ・歯科医療に関する専門的な知識や技術を習得するだけでなく、医療人としての倫理観や高い人間性を獲得したいと考えている学生

・後期日程の狙い

大学入試センター試験によって基礎的学力をみるとともに、総合問題と面接を課し、学問的向上心、総合的判断力および将来の歯科医師、研究者としての適性を評価する。

(8) 薬学部

・学部の理念

北海道大学薬学部は、薬学を、有機化学、生物化学および物理化学を基礎として、生命科学、創薬科学および医療薬学を総合的に研究し、その成果を研究活動または医療現場における薬剤師としての活動等を通して、国民の福祉に貢献し、医療へ還元する学問であると考えている。このため、北海道大学薬学部は、4年制の薬科学科と6年制の薬学科を設置し、それぞれ、生命科学、創薬科学の研究者の養成および研究心豊かな先導的薬剤師、医療薬学者の養成を目的としている。

・教育目標

人文・社会科学的な素養を修得するとともに、生命現象や生命体の仕組み、分子の性質・分子間相互作用の理解、化合物の構造解析や合成法等の基礎を、生物化学、物理化学、有機化学を通して学修する。2年次第1学期からは2学科に分かれ、上記理念で述べた学科の目標に従って教育が行われる。すなわち、薬科学科では、生物化学、有機化学、物理化学を基礎として、分子・細胞から個体レベルにわたるライフサイエンスを統一的に学修し、1.5年間の卒業研究および演習によって、研究遂行能力の育成を行う。薬学科では、医療科学、健康科学の知識や理論を統一的に学ぶとともに、医療薬学、臨床薬学に関する高度な知識や技術の修得を行う。さらに、22週（病院11週＋薬局11週）の実務実習、1.5年間の卒業研究を通して、倫理観、コミュニケーション力、責任感を持ち、問題発見能力、問題解決能力をもつ薬剤師ないし医療薬学・臨床薬学者になるための教育を展開する。

・求める学生像

- ・生命科学や創薬科学の研究または医療薬学や医療薬学研究を通じて社会に貢献したいと考えている学生
- ・医療現場や医療薬学教育の場において、先導的な薬剤師・教育者として活躍したいと考えている学生

・後期日程の狙い

大学入試センター試験によって基礎的学力をみるとともに、理科のみを課し、物理・化学・生物のうちから2科目を選択させ、理科についての広範な理解力を評価する。

(9) 工学部

・学部の理念

北海道大学工学部は、人類の生活をより快適に、より豊かにすることを使命として取り組まれるべき学問としての工学を通じて社会に貢献することを基本理念としている。そのため、(1) 社会から信頼される科学技術の創造を通して安全で安心できる社会の実現、(2) 環境調和型・資源循環型・高度情報化社会への変換を支える技術革新への挑戦に基づく社会への貢献、(3) 工学にかかわる新しい学問分野の創造への貢献、を教育および研究を通じて実現することを使命としている。

・教育目標

21世紀の社会と環境に責任をもてる技術者および工学研究者の育成を目指すとともに、技術革新に果敢に挑戦し、新たな産業と文明を拓く高度職業人の育成を目指す。そのために、人類の発展に必要な科学と技術に関する知識や技能、そしてそれらを安全に運用するために必要な教養と専門知識の習得を目標とする。教養教育では様々な観点から物事を捉えられる幅広い教養の習得に重点を置き、専門教育では、学部共通、学科共通、コース専門の三つの分野に分かれて広い視野からの専門性の高い知識や技能の習得を追求する。

・求める学生像

- ・知識を求めるとともに、自ら具体的にモノを創り出すことに関心がある学生
- ・高度な科学・情報処理の原理に基づく応用技術に関心がある学生
- ・現実に生じている様々な工学に関わる問題を解決したいと考えている学生

・後期日程の狙い

大学入試センター試験によって基礎的学力をみるとともに、数学と理科1科目を課し、専門に得意な能力・資質を重点的に評価する。

(10) 農学部

・学部の理念

北海道大学農学部には、札幌農学校の開校時の教頭であったW. S. クラーク博士によって唱道された全人教育と、北海道開発の人材養成を目的とした実学主義の理念が、その後130年以上を経た今日も脈打っている。増え続ける人口に起因する食料の不足、急増する資源・エネルギーの消費と環境汚染の激化、自然生態系の破壊と生物多様性の喪失など、人類の生存を脅かす諸問題を解決するために、北海道大学農学部は豊かな人間性に富み農学の専門的知識と課題解決能力をもった人材の育成を目標としている。現代の農学には、純粋科学の方向にそって分化発展しつつける分野と、それらの成果を統合して技術化する応用科学的な分野とがある。本学部はこれら二極化する諸科学を統括し、総合科学としての農学の体系的な教育と研究を行うことを目指している。

・教育目標

社会から要求されている生物生産と環境との調和に対応できる広い視野を養うこと、食料・資源・エネルギー・環境など人類の生存にとって重要な問題の解決に取り組む意

欲を高めること、および生物生産の状況変化に即応できる高度な専門性を身につけることを目標とする。これにより農学の重要性を理解し、地球的な課題に挑戦する大志と気概をもって農林業の持続的発展と関連産業に寄与し得る人材の育成を目指す。

• **求める学生像**

- ・基礎生物学と応用生物学をつなぐ研究を志す学生
- ・環境と生物の相互作用ならびにフィールドサイエンスに興味のある学生
- ・自然環境保全とリサイクル型の資源利用に関心のある学生
- ・バイオサイエンスやバイオテクノロジーを学びたい学生
- ・食料生産技術を通じて社会に貢献する意欲のある学生

• **後期日程の狙い**

大学入試センター試験によって基礎的学力をみるとともに、理科のみを課し、物理・化学・生物・地学のうち2科目の能力を評価する。

(11) 獣医学部

• **学部の理念**

北海道大学獣医学部は、今や地球上の全ての動物生命に責任を負う自然科学としての獣医学を背景に、動物の病気の診断・治療・予防にとどまらず、安全な動物性食品の供給、医薬品の開発、生物科学への貢献、野生動物の保護・管理と人獣共通感染症の制圧など、獣医学に対する社会の多様な要請に応えうる獣医師を養成することを理念としている。北海道大学獣医学部はこれまで我が国唯一の国立大学獣医学部として、優れた教員による特色ある少人数教育を実施しており、卒業生は各分野において中心的存在として活躍している。

• **教育目標**

多様な獣医学の社会的使命を理解し、科学的な思考力と判断力および国際的視野を備えた、創造性と人間性豊かな獣医師の養成を目指す。

• **求める学生像**

- ・動物を愛するとともに、動物を科学的視点から客観的に観察することのできる学生
- ・生命現象に対して、畏敬の気持ちと科学的な探究心をもつ学生
- ・獣医学を通じて社会的、国際的に貢献したいと考える学生

• **後期日程の狙い**

大学入試センター試験によって基礎的学力をみるとともに、理科と面接を課し、専門教育を受ける上での能力・資質・適性を総合的に評価する。

(12) 水産学部

• **学部の理念**

北海道大学水産学部は、水圏生物資源の持続的生産と総合的な利用、および環境の保全を目指した体系的な水産科学教育により、人類社会の繁栄へ貢献することを理念とする。

・教育目標

1. 「海洋・環境・生物・資源」などの水産科学や関連する広範な学問分野の学修を通じて、人類の生存と繁栄に寄与しうる創造的人材の育成
2. 水圏生物資源の持続的生産を可能にする地球規模での環境保全と生産の調和についての知識を有する意欲的・国際的人材の育成
3. 水圏生物資源の総合的な利用を通じて社会への貢献を行いうる指導的人材の育成

・求める学生像

1. 水圏の環境や生物・資源に強い関心があり、水圏環境と生物生産の調和を目指して社会に貢献する意欲のある学生
2. 水圏生物やその成分の機能を学び、水圏生物資源を合理的な方法で利用することで、健全な人類の発展を目指して社会に貢献する意欲のある学生
3. 将来、海洋・水産分野の国際的なプロジェクトに参加して活躍する意欲のある学生

・後期日程の狙い

大学入試センター試験によって基礎的学力をみるとともに、理科のみを課し、物理・化学・生物・地学のうち2科目の能力を評価する。

以上